

脱炭素化と道路交通の料金設定

気候変動緩和政策には、運輸部門における課税の根本的な変更が必要である。電気自動車への移行及び内部エンジン車の燃料効率の継続した改善により、燃料税収入は消滅してしまう。本報告書は、車両税及び道路使用税改革の選択肢について評価する。そして、収入をより効率的に生み出す可能性があり、かつ持続可能な交通システムへの移行に向けたインセンティブを維持し、促進できる税金と料金の組み合わせを特定する。

政策提言

- 燃料税を改革する
- 燃料税に距離に基づく料金を加える
- 新しい距離に基づく料金の導入について、オプトイン方式を検討する
- 必要に応じて渋滞料金を導入する
- 公共交通及び活発なモビリティの改善のために、渋滞料金収入の取り置きを考える
- 道路利用者料金の段階を設定して、持続可能な交通目的を達成する
- 差別化した距離に基づく料金の導入を優先政策とする
- 電気自動車への理解に向けたインセンティブを改革し、政策目標により合致させる